

1 調査の目的等

環境保全に関する意識を把握し、第7次岐阜県環境基本計画(R8～)の策定における検討資料とするもの。

<調査内容> ・関心がある環境問題について ・水環境の保全について ・地球温暖化対策について
・自然環境について ・ごみ問題について ・環境教育・環境保全活動について 等

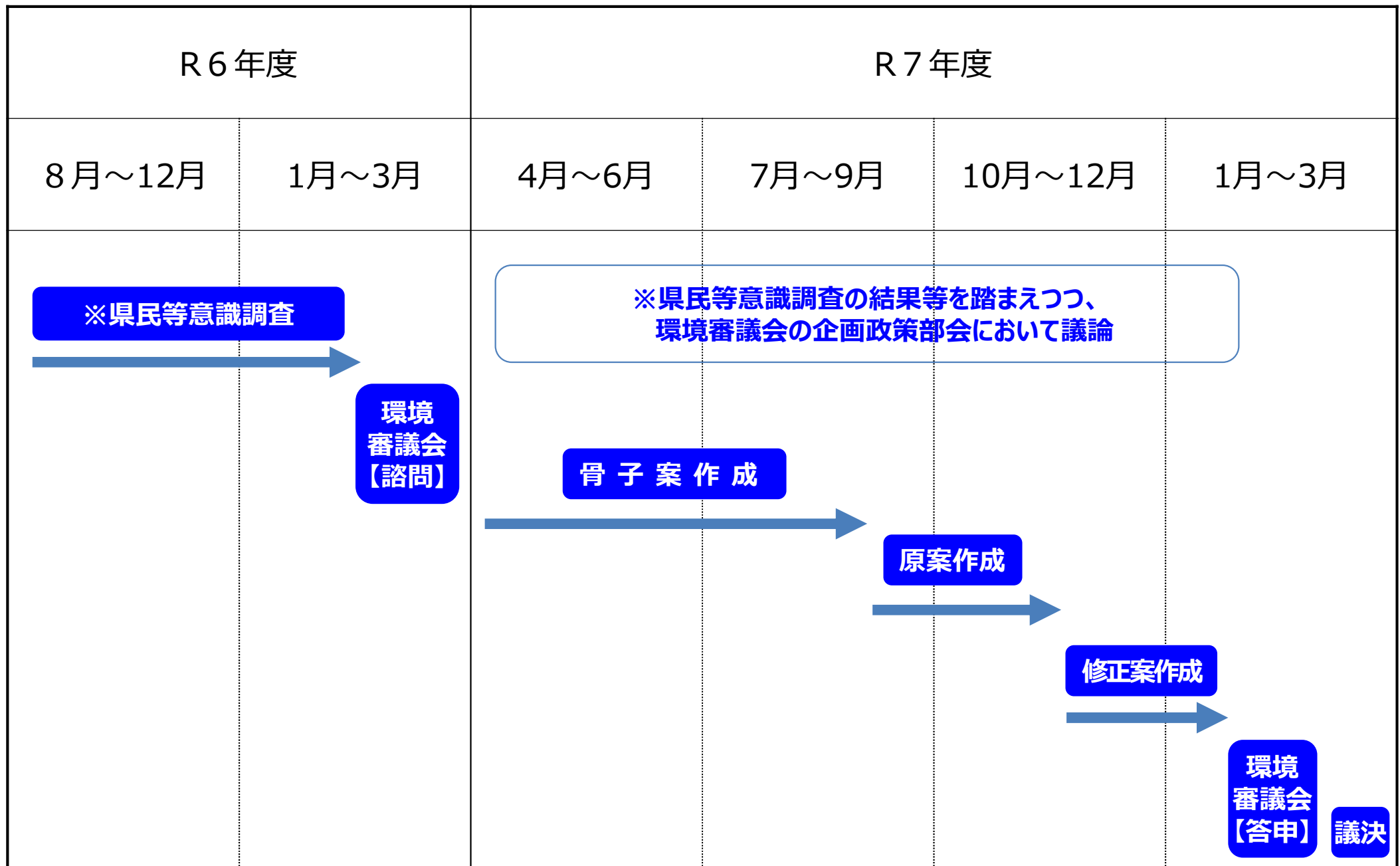
2 調査の概要

- 調査対象：18歳以上の男女 2,000人、環境NPO法人等 約150団体、
県内に本店を有する企業200社
- 調査方法：郵送法

3 過去の調査

| | 平成21年度 | 平成26年度 | 令和元年 |
|------|---------------------------------------|---------------------------------------|---|
| 対 象 | ・20歳以上の男女(2,000人) ・環境NPO法人等(218団体) | ・20歳以上の男女(2,000人) ・環境NPO法人等(203団体) | ・20歳以上の男女(2,000人) ・環境NPO法人等(138団体) ・県内に本店を有する企業(200社) |
| 調査方法 | ・郵送法 | ・郵送法 | ・郵送法 |
| 回収率 | ・55.8%(県民)、69.3%(団体) | ・52.6%(県民)、57.1%(団体) | ・46.9%(県民)、51.4%(団体)、46.5%(企業) |

第7次岐阜県環境基本計画 策定スケジュールについて（予定）



環境に関する県民等意識調査について（過去調査 抜粋）

関心のある環境問題 上位5項目

県民向け

| 平成21年度 | 平成26年度 | 令和元年度※ |
|--|---|--|
| ①地球温暖化、オゾン層破壊などの地球環境問題（50.5%） ②森林、河川、農地などの自然環境の悪化（43.2%） ③廃棄物の不法投棄（25.9%） ④太陽光発電など新エネルギーへの取組み（24.7%） ⑤家庭ごみの増加（22.8%） | ①地球温暖化（58.0%） ②森林、河川、農地などの自然環境の悪化（32.8%） ③大気の汚れ（27.6%） ④貴重な動植物の減少、外来生物の増加など生態系の変化（25.5%） ⑤太陽光発電など新エネルギーへの取組み（24.6%） | ①地球温暖化対策（90.4%） ②防災・減災対策（89.3%） ③気候変動への対応（87.3%） ④廃棄物対策・リサイクル（86.8%） ⑤緑や水辺の保全（81.1%） |

環境団体向け

| 平成21年度 | 平成26年度 | 令和元年度※ |
|---|--|---|
| ①森林、河川、農地などの自然環境の悪化（49.7%） ②地球温暖化、オゾン層破壊などの地球環境問題（45.7%） ③省資源・省エネルギーへの取組み（41.7%） ④太陽光発電など新エネルギーへの取組み（27.2%） ⑤水質の汚れ（26.5%） | ①森林、河川、農地などの自然環境の悪化（65.5%） ②水（河川水）の汚れ（35.3%） ③貴重な動植物の減少、外来生物の増加など生態系の変化（31.9%） ④地球温暖化（24.1%） ⑤省資源・省エネルギーへの取組み（21.6%） | ①環境教育（94.4%） ②森林の保全・整備（94.3%） ③緑や水辺の保全（93.0%） ④地球温暖化対策（85.9%） ⑤防災・減災対策（84.5%） |

※平成21年度、平成26年度は環境に関する各選択肢のうち関心のある項目を質問（3項目の複数選択）、令和元年度は環境に関する各項目について関心の度合いを質問したため、各項目の割合に差が生じている。

環境に配慮するために取り組んでいること

県民向け

| 平成21年度 | 平成26年度 | 令和元年度※ |
|--------|--|--|
| 設問なし | ①マイバッグを持参したり過剰包装を断る（80.2%） ②省エネ家電やLED電球への交換などを進んで行く（40.9%） ③緑のカーテン、すだれ等を取り付ける（37.2%） | ①買い物をするときはマイバッグを持参したり、余分な包装は断っている（77.2%） ②詰め替えのできる商品を選んでいる（70.0%） ③省エネ型家電や照明器具（LEDなど）を使っている（58.8%） |

※「環境に配慮した行動を実践するうえでの困難」として①何をどう行動すればよいかわからない、②行動による効果が実感できない、③環境問題の現状がわからないの順となった。